

燃ゆる感動かごしま国体を振り返って

報告者：大塚智紀（焼津中央高校）

最後の「国体」で、4年ぶりの優勝を目指して取り組んできました。結果的には2年連続初戦敗退となり、非常に悔しい気持ちとともに応援していただいたみなさんに申し訳ない気持ちでいっぱいです。

約1年間活動をさせていただいたので、自分なりに振り返っていきたいと思います。

全体の流れとして、

○10月：GSAの視察

○11月：U15の県トレセン活動に参加

→3種との引き継ぎ（選手情報等も含めて）も兼ねる

○12月：後期リーグ（vs愛知県）には、浜松開誠館高校単独で出場してもらう

→12月4日は2種のリーグ戦と重なり、クラブチームの選手は自チームのリーグ戦に参加

そのため選手が集まらずに、浜松開誠館高校に依頼

○2月：前期リーグ2試合（vs三重県、vs岐阜県）

2月22日に、U15の選手とU16の早生まれの選手を呼んで紅白戦を実施

ヤングサッカーフェスティバルに臨む選手の選考

○3月：ヤングサッカーフェスティバルで東京都と試合

3月末に、甲信越静に参加

○4月：県外から静岡にきた選手をピックアップして練習会（紅白戦）に参加してもらった（2回実施）

○5月：TMを2試合実施（浜松開誠館高校、磐田東高校）

○6月：TM1試合と前期リーグ2試合を実施（TM：藤枝明誠高校、前期リーグ：vs愛知県、vs三重県）

○7月：前期リーグ（vs岐阜県）とTM1試合を実施（vsU17高体連選抜）

○8月：ミニ国体（vs愛知県）

○9月：TM1試合と練習会1回を実施（TM：vs静岡学園）

○10月：本国体（vs大阪府）

総勢54人を招集（怪我や所属チームの事情等で参加していない選手を含めると、もう少し増える）

原則月2回の練習会を実施

最終的なメンバーの16人のうち、県外出身の選手は2人、早生れは6人の編成となった

浜松開誠館高校：4人 ジュビロ磐田：3人 清水エスパルス：3人

藤枝東高校：2人 アスルクラロ沼津：2人 静岡学園高校：1人 磐田東高校：1人

*この練習会およびTMの回数や内容などは、今後要検討ではないかと感じている

活動量が多いのか少ないのか、他県との比較や所属チームや選手の負担なども考える

また12月以降のU15の選手のコンディションは、例年受験勉強の影響もあり悪い

チーム作りとして、

○距離感 ○前向き ○つながる ○背中

この4つをキーワードとして、攻守において大事にしてきました。

大前提として、「相手を観て、変化する・共有する」ということを念頭において。

試合や練習会の振り返りなどを見返してみると、以下のことをよく選手に伝えていました。

- ①守備の強度を上げる（相手や味方との距離感、予測したポジショニング、連続するなど）
- ②背後へのアクションを増やす（ボールホルダーの状況をよく観て）
- ③自分がどこのエリアでプレーしているのか、常に意識する（サッカー理解にもつながる）

この3つが特に多かったものでした。

①個人でボールを奪うためには、相手との距離を縮めなければいけない。この距離感が遠いことが多かったように感じます。奪うために、予測をしておくこと。そして立ち位置を絶えず修正すること。この部分に課題がたくさんあったと感じています。

②選手の特性もありますが、背後へ抜け出すよりも足元で受けがたる選手が多い。相手にとって嫌なプレーは何か。相手や味方を観ているからこそ、良い立ち位置からのアクションができる。

③判断スピードやプレースピードにも関係してきますが、自分がどこでプレーしているのか、相手がどうなのか、時間帯やスコアといったものを理解しながらプレーができていないことが多かった。流れが悪い時は、ドリブル・パスの判断も含めて、ボールを失ってはいけないところで失ってしまうプレーが多く出ていたように感じます。

試合の結果

ヤングサッカー vs 東京都 1-2

甲信越静岡 vs 山梨県 4-4 (8-7) vs 長野県 4-0 vs 新潟県 1-0

前期リーグ vs 愛知県 1-0 vs 三重県 4-2 vs 岐阜県 2-1

ミニ国体 vs 愛知県 1-1 (7-6)

本国体 vs 大阪府 3-4

今後静岡県が再びあるべき位置に戻るためには、もっと緊張感がある強度の高い試合を早い段階からたくさん経験させること。そして指導者のレベルアップが必須になってくると思います。

最後に、今回の活動には（一財）静岡県サッカー協会をはじめ、多くの関係者の方々のご協力があったて成り立ったものでした。また、選手を派遣してくださったチームやTM等で協力してくださったチームに心より感謝申し上げます。今回の悔しさと経験を無駄にせず、「サッカー王国静岡」の復権に微力ながら協力していきたいと思います。本当にありがとうございました。